

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	再資源化推進事業	所管	環境クリーン部 東部クリーンセンター 施設課
			TEL 2998-5300

事業の目的 (何の為に 行うか)	廃棄物を再資源化することにより、廃棄物の排出を抑制し生活環境の保全を目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	施設に搬入される「容器包装プラスチック」「びん・かん・スプレー缶」「燃やさないごみ・粗大ごみ」一般持込ごみ等。	対象とした数	14,726	t
		実際に 利用した数	14,726	t

活動の内容 (何を したか)	一般家庭から収集された「容器包装プラスチック」「びん・かん・スプレー缶」「燃やさないごみ・粗大ごみ」は、各々ピットに投入されクレーンによりコンベヤホッパに運ばれ各処理先に移動する、「容器包装プラスチック」「びん・かん・スプレー缶」は手選別、機械選別等により資源として選別され再資源化される、「燃やさないごみ・粗大ごみ」は破碎処理され金属類は機械選別後再資源化される、処理の過程で発生した残渣は最終処分地に埋め立てられる。一般持ち込みごみは品目ごとに分別される。								
	活動実績	項目名	ごみの搬入量	14726	項目名	資源化量	6035	項目名	
			単位 t			単位 t			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	390,613	315,937	478,453	1,411.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	1tあたりの資源化量	資源物搬出量 ÷ 年間ごみ搬入量	45 単位 %	41 単位 %	91.1 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了	終了	休止		
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価 の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	再資源化推進事業	担当	部課コード	050700	TEL	2998-5300
事業コード	050702	環境	環境クリーン部	東部クリーンセンター施設課		
開始年度	平成 15 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ	リサイクルプラザグループ					

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画			
	関連・類似事業	西部クリーンセンター再資源化推進事業(プラスチック類)			
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル
	中柱	1 ごみ減量とリサイクルの推進	小柱	(2)リサイクルの推進	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位				
事業開始の背景	平成15年度より稼働を開始したリサイクルプラザでは燃やさないごみ・粗大ごみの破碎分別資源化、容器包装の資源化、一般持込ごみの等の適正分別、適正処理を行なっています。再資源化量を増やし、最終処分量を減らすことにより環境負荷の低減をはかり、資源循環型社会をめざす。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	廃棄物を再資源化することにより、廃棄物の排出を抑制し生活環境の保全を目的とする。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	施設に搬入される「容器包装プラスチック」「びん・かん・スプレー缶」「燃やさないごみ・粗大ごみ」一般持込ごみ等。						
	利用数の考え方	ごみの搬入量						
	対象数	単位	平成 18 年度	15,444	t	平成 19 年度	14,726	t
	利用数	単位	平成 18 年度	15,444	t	平成 19 年度	14,726	t
事業の具体的な内容及び実施方法	一般家庭から収集された「容器包装プラスチック」「びん・かん・スプレー缶」「燃やさないごみ・粗大ごみ」は、各々ピットに投入されクレーンによりコンベヤホックに運ばれ各処理先に移動する。「容器包装プラスチック」「びん・かん・スプレー缶」は手選別、機械選別等により資源として選別され再資源化される。「燃やさないごみ・粗大ごみ」は破碎処理され金属類は機械選別後再資源化される、処理の過程で発生した残渣は最終処分地に埋め立てられる。一般持込ごみは品目ごとに分別される。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価	<input type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
改善点	平成19年度中に改善した点 処理施設の点検整備を充実し、効率の良い施設運営をする。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		370,595	390,613	351,890
	決算 (見込み含む)		370,595	315,937	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(13.50 人)	(人)	(11.00 人)
	正規職員人件費	17.80 人	163,760	17.30 人	162,516
	公債費				
	事業費合計		534,355	478,453	
	財源内訳	一般財源	534,355	478,453	351,890
	国・県支出金				
	受益者負担金				
市債					
その他					
市民一人当たり(単位:円)		1,581.5	1,411.1		
利用数一単位あたり(単位:円)		34,599.5	32,490.4		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	ごみの搬入量	年間ごみ搬入量	t	15,444	14,726	15,000	15,000
	資源化量	資源物搬出量	t	6,126	6,035	6,200	6,750	
	成果分析	1tあたりの資源化量	資源物搬出量÷年間ごみ搬入量	%	45	45	45	45
				実績	40	41	実績値の拡大を図る1	1
				達成率	88.9	91.1	実績値の縮小を図る2	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市、委託業者 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	容器包装プラスチック品質評価、容器包装比率の向上		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	容器包装プラスチック品質評価、容器包装比率の向上	容器包装比率判定ランク Aランク(容器包装比率90%以上)の継続的な評価	本期中	
平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	施設の点検、整備、調整等を充実すること効率の良い施設運営をする。容器包装プラスチックについては、容器包装比率の向上をはかり品質をたもつため、圧縮梱包機及び磁選機の施設改修費用として3,000万円を増額予算計上を予定している。			
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	施設課長 糟谷 憲一	

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 10 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
市長マニフェスト		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業					
評価理由	資源循環型社会の構築を推進するには、本事業は大変重要である。また、容器包装プラスチック等資源物の再資源化を図るのにあたり、品質向上のために職員研修を実施していることや、異物を除去するために必要な設備改修を行うなど工夫を重ねていることは評価できる。よって「引き続き実施」とした。					
評価日	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	322
	施策の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2-2リユース・リサイクルの推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				